

## 令和3年度英真学園高等学校 学校評価

### 1. めざす学校像

#### 建学の精神

誠実・勤勉を心がけ、豊かな教養とより深い人間性の育成を目指す

- \* 個性や違いを認めて支えあう学園
- \* 他人を思いやる心豊かな学園
- \* 毎日を肯定的に受け止め、想像力豊かな学園

### 2. 中期的目標

#### アジアで活躍する人材の育成

アジアの人々とともに豊かで平和な未来を築く創り手の育成をめざし、生徒とともに教職員も切磋琢磨する学校

#### 1. アジア諸国に興味・関心を持つ

多様な文化・言語に触れ、グローバルな視点で物事を捉える力を養う

#### 2. 情報発信能力を高め、協働的問題解決をはかる力を養う

自らの意見を表現・発信する力、多様な意見を聴き理解する力を養う

#### 3. アジアの中の日本

公共心や規範意識、人権への鋭い感受性と他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高めあう力を養う

#### 4. 主体的・対話的で深い学びの探究

学びへの興味と努力し続ける意志を喚起し、その指導方法を不断に見直し改善する

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [令和4年1月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>学校評価(自己評価)</p> <p>教職員 調査対象 専任教員・専任事務職員</p> <p>調査方法 4段階評価</p> <p style="text-align: center;">A : よくあてはまる                      B : ややあてはまる C : あまりあてはまらない            D : まったくあてはまらない</p> <p><b>調査項目の分析</b></p> <p>昨年度より中期的目標を大幅に変更, アジアで活躍する人材を育成するための取り組みを一つの柱として先生方に取り組んでいただいた。目指す学校像および中期的目標に年度当初の方針会議において校長や各部署から提議された重点的な取り組み(重点目標)を加えて32項目にて学校評価(自己評価)を行なった。</p> <p>『アジア諸国について生徒に興味・関心を持たせる何らかの発信が出来たか』, 『研究授業が出来たか』, 『学校(法人)の財務状況や経営指標、予算・決算の収支状況を理解しているか』の3項目についてAとBの自己評価が昨年度より大幅に増えたため, 32項目中29項目が肯定的な評価結果となった。</p> <p>建学の精神については多くの先生が生徒に対して指導ができていると答えている。また『他人を思いやる指導』については自己評価を80%以上得ていることから, 他人を思いやる姿勢をしっかりと教育できているものといえる。</p> <p>生徒の聴く力, 意見を出し合う学習環境作りなども高評価を得ている。考査業務における事故防止策の徹底で初めて90%に達する自己評価を得た。先生方もこの件については相当の神経を注いでくれているものと感じ取れる。次に教室美化については80%以上の自己評価を得ている。一方, コロナ禍の影響で昨年度まで実施していたボランティア活動が実施出来なかったため肯定率が下がった。</p>	<p>次年度に向けて具体的方策や評価指標をさらに具体化していても良いのではないか。</p> <p style="text-align: center;">生徒自身がアジアの中で自身の位置をどのようにとらえさせていくのかをしっかりと認識させるための環境作りをすすめていく必要がある。</p>

## 学校関係者評価

外部代表として外部理事・監事，同窓会役員およびPTA役員の方から，学校の状況について意見をいただいた。

- ・ 教員が学校への帰属意識をどの様に持つかは様々だが，学校が目指すのは教員が生徒の学習能力を高め，健全な人格形成を築くよう指導することにあると思われる。教員が自己評価の多くの項目についてあてはまるという回答をしているので意識が高いと評価できる。
- ・ 少子化になる中での生徒募集活動も工夫され活発に行われている。
- ・ 生徒が自分自身に自信を持ち，自分で考える習慣を身につけ，自分の考えを表現でき，他人の話を聞く力をつけ，意欲的な向上心を持てるようにすることが，学園に求められていることだと思う。
- ・ Classi 導入と活用。生徒会とクラブ活動が活発であり。文化的行事への取り組みがなされている。

### 3. 本年度取り組み内容および自己評価

中期的 目 標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	達成状況と自己評 価
1 アジア諸国に興味・関心を持つ	<p>多様な文化・言語に触れる</p> <p>(1) 各クラス・各教科において、アジア諸国の文化や言語に興味関心を待たせ、意識させる</p> <p>(2) 図書室では、教員や生徒がいつでも閲覧できるようにアジア諸国の書籍を揃えておく</p>	<p>(1) 教員は、自らもアジア諸国に興味を持ち、アジア諸国に関する知識を授業やHR活動で生徒に情報発信し、生徒に興味関心を持たせる</p> <p>(2) アジア諸国に関する書籍の充実、図書室に「アジア諸国」のコーナーを設置</p> <p>■生徒アンケートを実施する</p>	<p>(1) どれだけ情報収集できたか どれだけ生徒に情報発信できたか</p> <p>(2) アジア諸国に関する書籍の貸し出し数の増加</p> <p>■日々の学校生活において、アジアを意識できたか</p>	<p>自分の持っている知識を発信できたが、より情報収集が必要と感じた。</p> <p>「アジア諸国のコーナー」を昨年設置したが、利用生徒は全利用生徒の10%程度であった。今後書籍の更なる充実を図り、利用生徒の増加を目指す。</p> <p>生徒アンケートを実施した結果、より意識できた生徒は15%程度であった</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 情報発信能力を高め、協働的問題解決を図る力を養う</p>	<p>生徒達自ら課題を設定し、独自の考えを見つけ出し、第三者にその成果を伝える力を養う</p> <p>(1) 多様な意見を聴き理解する力を養う (インプット)</p> <p>(2) 自らの意見を表現・発信する力を養う (アウトプット)</p>	<p>(1) 教員は、HR活動・行事・授業において、生徒達自らが考え、意見を出し合い、まとめる機会を設ける</p> <p>(2) 教員は、HR活動・行事・授業において、生徒がプレゼンテーションをする機会を設ける</p> <p>■生徒アンケートを実施する</p>	<p>(1) 生徒が積極的に意見を出し合えるような学習環境を作れたか</p> <p>(2) 生徒が積極的にプレゼンテーションする学習環境を作れたか</p> <p>■他人の意見を聴き理解できたか 自分の意見を発信できたか</p>	<p>昨年度より10ポイント以上多い85%の教員が、より生徒の意見等を出し合える環境作りが出来ている</p> <p>昨年より10ポイント以上多い、74%の教員が学習環境を作ることができている</p> <p>生徒アンケートを実施した結果、概ね理解することや発信することが出来ていると感じている生徒が80%を超え、より積極的に発信が出来たと感じている生徒も20%を超えている</p>
---	---	--	---	---

日本が世界から評価を受けている、「時間厳守」や「美化意識」、「災害時における物資授受等の規範意識」「思いやりの精神」について考えさせる

1. 公共心や規範意識を高める

(1) 欠席・遅刻をなくす

(2) 美化活動の徹底

(3) マナーを守る  
ボランティア活動

2. 人権への鋭い感受性と他者理解を尊重する

(1) 外部講師を招いての人権 HR の実施

(2) 弱者の立場を理解し、助け合いの精神を養う

(1) 毎月 1 回、「無遅刻週間」を設ける。生徒会のあいさつ運動の実施

(2) 生徒会の美化委員会と協力して美化点検を行う  
地域清掃活動を行う

(3) 教員による登下校指導  
生徒会によるあいさつ運動  
通学路でのマナー向上のため、地域の方との連携  
被災地に対する支援活動

2. 人権意識の育成と人権 HR 活動を通じて他者共生を図る

(1) 各学年によりテーマを決めて、外部講師を招いての講演を聴く

(2) 視覚障害者の講演を聴く  
車いす体験を実施

(1) 欠席・遅刻数において、前年比減を目指す

(2) 机の整頓、ゴミ箱にゴミが残っていないか、黒板まわり等、チェック項目を設ける

(3) 登下校時、電車内でのマナーを守れたか  
ボランティア活動に積極的に取り組めたか

(1) 講演のあと、フィードバックにより理解したことを定着させることができたか

(2) 体験のあと、フィードバックにより理解したことを定着させることができたか

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響による出席停止があったため比較できなかった

令和 3 年度も日々の教室美化の徹底が図れた

マナーに対するより意識の高い指導を心掛けた

講演後に必ず HR 教室で振り返りの時間が確保することができた

体験の前に講演を聞くことにより、より充実した体験ができた  
体験後は各 HR 教室で、様々な意見を出し合えた

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 主体的・対話的で深い学びの探究</p>	<p>学びへの興味と努力をし続ける意志を養う</p> <p>各部・各学年等においてコミュニケーションを図り、組織的な指導力を高め、日々の学習活動において、『できた』達成感を共有・蓄積して、生徒と共に探究していく</p>	<p>各教科では、学期ごとに研究授業を行い、教科会議において、授業研究を行う</p> <p>生徒との日々の学習活動において『できた』達成感を共有・蓄積して、その後のクラス運営や学校作りに役立てる</p>	<p>研究授業、教科での研修会議の回数</p> <p>e-Portfolio の実施に向けての委員会の設置</p>	<p>今年度、90%を超える教員が、積極的に公開授業を行い、教科会議において授業の研究を行った</p> <p>人権教育推進委員会と特活指導部が行事や講演ごとにポートフォリオとして残すための準備を行い生徒はファイリングをしている</p>
--	---	---	---	---

#### 今後の目標

- ◆入学した生徒が全員卒業していけるように指導を行なっていく
- ◆生徒が充実した学校生活を送れるように、学習活動、生徒指導、特活指導、人権教育、支援教育、キャリア教育の充実を図る体制づくりをさらに進めていく
- ◆生徒に建学の精神を身につけていける教育の実践を行い、アジアで活躍できる人材の育成を目指していく
- ◆生徒たちにキャリア教育を通じて興味・関心を持たせ、全員の進路決定を目指す
- ◆規範意識を高め、人権を重んじる生徒の育成に取り組み、いじめのない楽しい学校生活を送れる環境づくりを進めていく
- ◆次年度より第1学年でiPadを購入させ、ICT教育をさらに進めていく。また、そのためのWi-Fi環境も整えた
- ◆次年度第1学年よりポートフォリオはiPadに保存できるよう進めていく
- ◆来年度から実施される「観点別評価」について、各教科の評価の仕方、考え方を再検討する
- ◆来年度「私学人権研究協議会」の幹事校として、学習障害、LGBTQ等の教員向けの研修を積極的に行い、さらに理解を深める。